

高齢で運動機能や体力が低下しても「旅の夢」を実現

NPO法人パオッコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
太田差恵子

旅行に出ると新たな発見や感動に出会うことができます。「想像するだけで心が弾む」という人は多いでしょう。しかし、高齢になると、運動機能や体力が低下し、徐々に旅に踏み出すハードルが高くなっていきます。足腰が不自由になり杖や車椅子を利用するようになるとおさらです。ツアーへの参加を検討しても、「添乗員や他の参加者に迷惑をかけることになるのでは…」とか、「もしも旅先で具合が悪くなったらどうしよう」と不安に……。

このような高齢者の気持ちに

応え、体が不自由が生じてでもあきらめなくてもいい「旅」のサポートをする旅行会社が登場しています。

●介護・福祉の専門資格を持ったスタッフが旅の予約・手配をサポート

株式会社エイチ・アイ・エスでは、体力に自信がない高齢者が、より安心して旅を安全・快適に楽しめるようにと2002年にバリアフリートラベルデスク（東京都渋谷区）を設立しました。一般店舗では高齢者への配慮が十分でないため、こち



絵・いしだみな / 働カトウプロ

らで介護福祉士、ホームヘルパー2級、社会福祉士、手話検定などの専門知識を備えたスタッフが旅の予約・手配をサポートしています。現在、スタッフは5名です。

「高齢でも参加できるでしょうか」

「死ぬまでどうしてもハワイに行きたいのですが…」

こういう問い合わせに対応するのは、簡単なことではありません。先方の状況を細かく聞き取る必要があります。しっかりと

情報を得ていなければ、旅行に出てから大きなトラブルにつながることに。

そこで、1本の電話に1時間、2時間と長時間、対応することも珍しくないといいます。不安を受け止めつつ、どういう形での旅行であれば出掛けられるかを提案していきます。若年者が考える以上に、高齢者が抱く不安は大きく、特に海外旅行のケースでは最初の問い合わせから参加申し込みまでの期間が1年半から2年にも及ぶこともあるそうです。

●オリジナルパッケージ「旅なかま」

3年前からバリアフリートラベルデスクのオリジナルパッケージ商品「旅なかま」の販売もスタートしました（会員制・無料）。高齢や障がい配慮した内容になっており、「海外旅行」「国内旅行」「四国お遍路」「ホノルル



スイス・マッターホルン（旅なかま）

「マラソン」がありません。
参加者の年齢層は65歳から85歳が中心で、夫婦での参加が多いそう。おひとりでの参加も増加傾向です。それぞれのツアー

参加者は、10〜15人で、うち車いす利用者は、その半分強の6〜8人。

初めての参加までには時間を要することも多いですが、リピーター率は高く、2度目3度目の申し込みはスムーズとのこと。打ち合わせた内容は個人カルテのような形で蓄積されているからです。また、こちらのデスクの特徴として、デスクのスタッフが添乗員も行うので、旅先での状況も把握でき次の旅に活かされます。

「死ぬまでにハワイに行きたい」と言っていた人が、ハワイに行けると欲が出て「次はアメリカに」、「その次はヨーロッパに」と目標ができ、リピーターになっていくケースも珍しくないので。

介助を要するけれど介助者がいないというケースに利用できる「旅行介助ボランティア」も用意されています。介護の現場で働いているプロがボランティア登録しているので安心です。

毎回利用しながら年に2度3度と海外旅行を楽しむ参加者もいます。

一方、親を旅行に送り出した家族のための「旅の実況中継」サービスも。添乗員がツイッターで写真やコメントを発信するものです。1日に1000回程度発信するので、家族も旅の状況を把握でき、安心することができます。

取材中も、ご高齢の男性がデスクを訪れ旅の相談をしている姿がありました。

「ただ単に『旅』を売っているのではなく、より深くご高齢者の人生に係っていると考えています。旅でのご経験が、日常生活での新しいチャレンジへのきっかけになれば素晴らしいことだと思います。」と担当者。

他社サービスも含め、自身の親に向く旅プランを探してみませんか。年老いて、いろんなことをあきらめている親にとって、



絵・おくとしゅーじ/欄カトウプロ

◆H.I.S. バリアフリートラベルデスク

☎03-5360-4761 FAX03-5360-4733

<http://www.his-barrierfree.com/>

営業時間：

平日 10：00～18：30

土曜日 11：00～18：30

日祝日 11：00～18：00

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-33-8

サウスゲート新宿ビル 1階

大きな喜びになり、生きる張りが合いにつながるかもしれません。